

マルチクライアントスタディ

中国ラージフォーマットプリンティング市場調査

— 経済成長に伴いグラフィックス・エンジニアリング共に

急成長が期待されている有望市場 —

企画書

G.S.M.株式会社

URL: www.gsm.to e-mail: info@gsm.to

1. はじめに

G.S.M.株式会社では、国内外の出力機器/入力機器市場に特化した市場調査結果の提供ならびにそれを基にしたコンサルティングをおこなっております。欧米を中心とした海外市場に関しては出力機器市場を得意とするCAP Ventures、入力機器市場を専門とするInfoTrendsを、また国内市場および中国市場に関してはG.S.M.が調査を行っており、多くのクライアントにご利用いただいております。

私共の中国市場分析グループでは出力機器分野に関して、主にオフィス環境で利用されるプリンタ、複写機、FAX および MFP とそれらで利用される消耗品市場をフルタイムの現地専門アナリスト達が調査・分析を行っています。また、デジタルカメラ市場については2002年末にマルチクライアントスタディを実施し、PC、大判プリンタやデータプロジェクタについてはこれまでも何度かカスタムプロジェクトとして調査を行って参りました。

さて、今回 G.S.M. 中国調査グループでは「**中国ラージフォーマット・プリンティング(LFP)市場調査—経済発展に伴い市場の急拡大が見込まれているグラフィックスおよびエンジニアリング用大判出力機器市場分析—**」と題し、今後急激な市場拡大が見込まれる当該分野の分析プロジェクトを企画いたしました。ラージフォーマットプリンティング(以下 LFP と略称)分野は、CAP Ventures の世界市場予測によると、2000年に約61億ドル市場だったものが2005年には約85億ドル市場へと成長します。その中でもグラフィックス市場は2000年の34億ドルが2005年には約54億ドルへとまだまだ急激に成長しています。CADに代表されるエンジニアリングLFP市場はほぼ横這いであります。

今回調査対象となる中国では、2001年のWTO加盟、2008年の北京オリンピックや2010年の上海万博などに代表される様に、急ピッチで経済の発展が進み、インフラの整備、多くの建築工事などがあちらこちらで見受けられます。これらはグラフィックス LFP 市場だけでなくエンジニアリング LFP 市場をも大きく推進する要因でもあり、複数のベンダーの方々が注目しております。しかしながら中国においては信頼できる統計データというものがあまりなく、また市場に関する情報が不足しており、戦略を立てるために必要となる、中国市場の現状と今後の動向について調査を行う様にご要望を複数の企業からいただきました。当プロジェクトでは、各ベンダー、総代理およびディーラー等に対して丹念なインタビューを行い、中国 LFP 市場の実態と今後の動向を明らかにします。また、LFP ユーザーにもケーススタディを行い、利用方法、課題、要望などを明らかにします。最終的には、アプリケーション毎に市場がどのように成長するかを分析いたします。

2．調査項目

当プロジェクトでは以下の情報を提供することを目的とする。現在、信頼できる LFP 市場に関する情報が少ないことから、これまでの中国 LFP 市場の成長過程と、現在の市場の状況調査ならびに今後どのように市場が成長していくかを最重要課題として調査/分析する予定である。具体的な、問題意識としては、つぎの提供を主眼においてプロジェクトを進める予定である。また、当プロジェクトは大きくグラフィックアプリケーションと、エンジニアリングアプリケーションの二つに大別して行い、それぞれについて下記の項目を調査する。

2-1 ハードウェア市場データ（数量および販売金額）

- ・ 印字方式別 LFP 市場規模（過去 3 年間と向こう 3 年間の市場予測）

- インクジェット
 - ◇ 染料系
 - ◇ 顔料系
- 熱転写
- 静電
- 電子写真
 - ◇ MFP（複合機）
- スーパーワイド

- ・ 業種別 LFP 市場規模

< グラフィックスアプリケーション >

- ・ 写真現像業
- ・ 看板業
- ・ 展示会・イベント会社
- ・ 広告業（デザインなど、）
- ・ 出力センター（プリント、コピーなどのサービス）
出版、印刷業
- ・ 建設業
- ・ 学校、図書館

< エンジニアリングアプリケーション >

- ・ 製造業
- ・ 建設業
- ・ 出力センター
- ・ 地理、天気予報業（GIS）

- ・ 出力サイズ別 LFP 市場規模（過去 3 年間と向こう 3 年間の市場予測）
 - A1
 - A0
 - >A0
- ・ 各印字方式・出力サイズ別ベンダーマーケットシェア

2-2 消耗品市場データ（数量および販売金額）

- ・ アイテム別消耗品市場規模
 - インク
 - ◇ 染料 vs 顔料
 - ◇ 水性タイプ vs 溶剤タイプ
 - ◇ 純正 vs サードパーティ
 - トナー
 - ◇ 純正 vs サードパーティ
 - メディア
 - ◇ 紙メディア
 - コートインクジェット用紙
 - 写真用紙
 - CAD 用紙
 - ◇ フィルムメディア
 - 半透明フィルム
 - バックリットフィルム
 - 透明フィルム
 - ◇ その他
 - 塩ビ
 - その他メディア

2-3 ワイドフォーマットハードウェア販売チャネル分析

- 各チャネルにおけるキープレイヤーのプロファイル
 - ◇ 扱い品目・量
 - ◇ 保守・サポート体制
 - ◇ 主な顧客（得意なアプリケーション）

2-4 ベンダー分析

- 主要ベンダー各社の戦略を分析
 - ◇ 市場での現在のポジション
 - ◇ 得意とするユーザーセグメント
 - ◇ 市場戦略(現在/今後)
 - 対象ユーザーセグメント
 - 製品開発
 - チャンネル
 - ◇ 技術開発動向
 - ◇ 強み、弱み

2-5 ユーザーケーススタディ

各業種における代表的なユーザーに関して下記項目を報告する

- ユーザープロフィール(企業概要・ビジネスの内容)
- 主なアプリケーション
- 使用機器・環境(ホスト PC、インターフェイスなど含む)
- 使用 RIP
- 出力種類別月間出力量(m^2)
- 消耗品購入ルート
- 工夫している点
- 抱えている問題点

3. 基本インタビュー項目

3.1. ユーザーインタビュー

- 企業概要
- 従業員数、LFP 利用部門の年商/従業員数、ビジネス内容
- LFP 利用用途
- 生産量
- LFP ハードウェア
 - 保有機種/台数、稼動状況
 - 機種選定理由
 - 機能に対するニーズ
 - スピード、画質など
 - LFP リプレイス/追加購入
 - 予定(時期、機種、金額など)
 - 促進要因(ビジネス拡張、新機種の登場など)
 - その際のニーズ(機能、価格)
 - 利用システム
 - ◇ 画像入力システム(スキャナ、デジタルカメラ、支給画像など)
 - ◇ 編集/データ処理システム
 - ◇ CPU
 - ◇ OS(Macintosh、Windows、UNIX 他)
 - ◇ アプリケーションソフトウェア
 - ◇ サーバー(OS、CPU、サーバーソフト)
 - ◇ RIP
 - 内蔵 RIP/ハード RIP/ソフト RIP
 - ネットワーク
 - ディーラー選定理由
 - LFP 利用の今後
 - ◇ 拡大方向/縮小方向
 - ◇ 利用用途の拡張
 - ◇ ビジネス上課題/問題点と今後の見通し
 - ◇ 業界単位での利用状況/見込み

3.2. チャンネル(SI、VAR を含む)インタビュー

- 企業概要
- 資本金、年商、従業員数、LFP 扱い部門の年商/従業員数、ビジネス内容

- 対象分野
 - ◇ 印刷業、複写業、一般企業、DTP制作業、データ印刷、製造業、建設、その他
- LFP 関連販売品目/ベンダー
 - ◇ ハード/ソフト
 - ◇ CPU、OS、LFP、入力機、RIP、サーバーソフト、アプリケーションソフト
 - ◇ 現在推薦しているシステム構成とその理由
- サポート体制
- 販売実績/計画
 - ◇ 月間システム販売台数
- LFP ビジネス参入理由
 - ◇ 従来ビジネスの延長、新分野参入など
- LFP ビジネスの現状
 - ◇ 課題など
- 今後の LFP ビジネスの見通し
 - ◇ 現在の顧客の今後
 - ◇ 潜在顧客の掘り起こし策/状況
 - ◇ ハード/ソフト/サプライの新規取扱い予定
 - ◇ ユーザーニーズ把握状況
 - ◇ ハードウェア、ソフトウェア、サプライ、サポート
 - ◇ ベンダーに対する要望

3.3.ベンダーインタビュー

- 企業概要
 - ◇ LFP 取り扱い部門の年商/従業員数、ビジネス内容
 - ◇ 販売数量
 - ◇ チャネル体制
 - ◇ サポート体制
 - ◇ 市場戦略
 - ◇ 注力するユーザーセグメント
 - ◇ 課題
- 機器開発状況
 - ◇ RIP/ソフトウェア対応状況
 - ◇ 自社開発/OEM
- サプライ供給
 - ◇ 販売数量とその変化
 - ◇ 種類と変化
 - ◇ サードパーティー・海賊版対策

4. プロジェクト手法

4.1.インタビューサーベイ

ベンダー、システムインテグレーター、ユーザーに対して、直接面談によるインタビュー及び電話インタビューを行う。面談によるインタビュー数は以下の通りである。

◇ LFP 出力機ベンダー	約 10 社
◇ サプライベンダー	約 5 社
◇ システムインテグレーター、ディーラー	約 10 社
◇ ユーザー	約 30 社
◇ その他 (RIP、ソフトウェアなど)	約 5 社

合計 60 社以上

また、併せて電話インタビュー (合計約 100 件) も行う。

4.2..文献サーベイ

必要な範囲で文献サーベイも行う。これには、以下のソースを含む。

- ◇ ベンダーの製品資料
- ◇ 他の調査機関による資料
- ◇ 専門雑誌記事
- ◇ 社内の既存の調査資料
- ◇ オンラインデータベース/web
- ◇ 税関に対する調査

5. 成果物及びサービス

以下の成果物及びサービスを提供する

本報告書 1セット(200-250 ページ)

報告会

- ◇ 口頭のプレゼンテーション(半日)
- ◇ プレゼンテーション資料
- ◇ 質疑応答

追加の質疑応答(当企画に含まれない新たなリサーチを必要としない範囲で)

6. プロジェクト期間

クライアントニーズ追加、ご契約.....	2003 年 1 月 10 日 - 2 月 15 日
文献調査.....	2003 年 2 月 15 日 - 3 月 8 日
インタビュー調査.....	2003 年 2 月 24 日 - 3 月 21 日
分析/報告書作成.....	2003 年 3 月 21 日 - 4 月 4 日
中間報告書納品.....	2003 年 3 月 31 日
最終報告書納品.....	2003 年 4 月 25 日
プレゼンテーション.....	2003 年 5 月 12 日以降

7. 価格

正規価格 ¥2,500,000- 税別

- ◇ ¥1,500,000- グラフィックス市場についてのみ購入の場合
- ◇ ¥1,500,000- エンジニアリング市場についてのみ購入の場合

早期申込割引価格 ¥2,000,000- 税別 (2003 年 2 月 24 日まで)

- ◇ ¥1,250,000- グラフィックス市場についてのみ購入の場合
- ◇ ¥1,250,000- エンジニアリング市場についてのみ購入の場合

[支払条件]

契約時に半額、報告書納品時に残り半額の請求書を発行いたしますので、それぞれ請求書発行日の翌月末日までに現金(銀行振込)にてお支払いください。

それぞれの請求書発行時に、消費税(価格の 5%)が加算されます。

御社独自の調査/分析ニーズを付加

本サービスをプロジェクト開始前にご契約いただいたした場合、クライアント独自のニーズによる調査/分析項目を追加できます(本プロジェクトのカバレッジを大幅に逸脱しない範囲でお願いします)。このため、マルチクライアントサービスの価格でありながら、カスタムスタディの内容を持ったサービスとして使うことが可能です。また、本プロジェクトのカバレッジを超えたリクエストに関しては、オプション料金によるサービス提供が可能ですので、お気軽にお申し付けください。

連絡先

8. 当スタディへのお申し込み方法: 下記参加申込書にご記入の上、FAX または郵送にてお送りください。

< 申込宛先 >

G.S.M.株式会社 中国市場調査グループ

〒150-0012 渋谷区広尾 1-3-18 広尾オフィスビル 10F

Phone:03-5475-2663

Fax:03-5475-2710

Email: info@gsm.to

< 参加申込書 >

マルチクライアントスタディ

「中国ラージフォーマットプリンティング市場調査」

当社は表記マルチクライアントスタディに参加します。

記

参加申込日: 2004 年 ____ 月 ____ 日

会社名: _____

所属: _____

申込者名: _____

会社所在地: 〒 _____

電話番号: _____ FAX 番号: _____ e-mail: _____